

amanakuni net news

NOE

「動物実験反対!!」をテーマに、ストレートなバンクで歪んだ現代の生命観、人間主義を告発するNOE。その批判は、「先進」諸国の飽食のために破壊される中南米などの広大な大地、産業化した医学、国家、学校制度にまで及んでいる。自主製作ソノシート(200円)も発売中だ。この年末・年始は渋谷の「屋根裏」などでライブを予定している。

■問合せ ☎03-332-8246 (ソノシートはブラサード書店でも販売している)



ワークショップ89 in 屋久島

竹内演劇研究所がこの春なくなった後、その元スタッフが中心となって「からだほぐし・こえびらき」を追求している「からだことば研究所」が、89年の春に屋久島でワークショップを開く。山尾三省や真木悠介も参加して、3月27日から4月2日までの6泊7日。参加費は7万円(宿泊・食費込み)で、定員30名。保育については相談に応じるそう。■問合せ ☎03-375-3530(2 pm~7) 375-7492(7~)

たべものや閉店へ

西荻北口にあって、ほびっと村発祥の地?ともなった「たべものや」がこの暮れで食堂の営業をやめ、2月で店を閉めることになった。第一期名前のない新聞の最終号No.101('77.12月号)を見ると、開店して1ヶ月目のたべものやの様子が1頁半にわたって載っていて、一時代が過ぎたんだという感慨におそわれる。たべものや準備会の元となった初期ほびっと村学校の女たちの講座「珠裸衣」が始まってから1年。ほびっと村が生まれる元となったJam Houseがほびっと村の1Fへ移ったあとに開店したたべものやだが、もうあれから11年もたったわけだ。立退きで閉店というのも残念な気がするが、これまでたべものやに関わってきた女たちの新たな旅立ちを期待したい。1月・2月にはイベントやパーティーを計画しているとのこと。■問合せ ☎03-399-8794



ウリウ治療室10周年

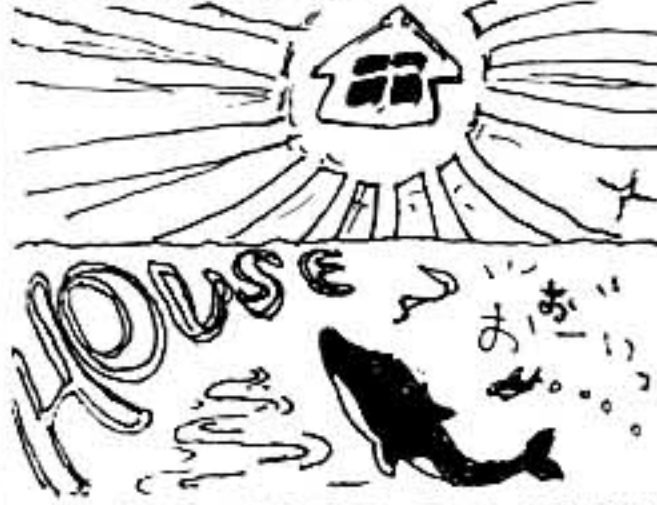
ほびっと村学校の人気講座「操体法と綜統医学」の瓜生さんの池袋にあるウリウ治療室がオープンして10周年を迎えた。去る11月23日に200人ほど入る会場

で開かれた記念パーティーは盛況で、発見の会のパフォーマンスや東郷健さんの舞踊、まだ日本に残っていたアンナブルナ・バンド(日本人メンバーの方が多かったような気がしたが、かなり酔っ払ってしまったのではっきりとは覚えていない)の演奏、そして新潟から出てきたJAH KSKも唄っていた。KSKにはめったに会えないと思ったので、突如インタビューを申し込み、音楽活動やなぜ田舎に住むようになったかなど聞かせてもらった。次号にはそれを紹介する予定なので楽しみに!

なおウリウ治療室は発展して大久保にも分室を出すことになった。こちらは東郷健さんがゲイの人達のためのクリニックを開いているところにスペースが空いていて、使わせてもらえるようになったところ。研究会の会場にもなる他、世界難病救済センターの拠点としても使ってもらいたいとのこと。

■連絡先: 15頁の広告を参照

ため息つきつつ、遊び場を探します。いつも変わらないのが子供たち。(あ、でもずいぶん変わったか。でも遊びごころは変わらず、水を見ればバチャバチャ、木を見ればよじ登る)



今の場所に保育園があることに私達とは違ってなじんできてしまっているけれど、家主さんの都合でこの場所も変わらなければならなくなってしまいました。今の住宅事情ではなかなか保育所として貸してくれる家はみつかりません。広い空地を見ればよだれをたらしつつ、子供たちとの散歩の行き帰りには空家を探し、日常の生活のなかで合間をみても不動産屋めぐり...と毎日過ごしています。小金井市のできれば南地区(全域可ですが)「狭くても庭があり1階が15畳以上、そして台所とお風呂がある、家賃15万円程度」の家を探しています。

家を探しています

回帰船前原町共同保育所 多磨霊園の裏門近く、小金井市四丁目の民家を借りて小さな保育所をやっています。ワイのワイのビィビィキャアキャアと赤ちゃんから学校へ行く前の子供たち17~18人と大人たちが朝8時から夕方6時まで過ごしています。

無認可保育室では、認可園に条件が合なかったり、定員オーバーのため入れない子供たちや、小さくてもそれぞれ特有の保育内容をもった保育室がよいと(親や子供が)選んで来る子供たちが毎日過ごしています。この2年間で4園が閉園に追い込まれていますが、ほとんどの施設が借家であることも大きな要因になっています。

10数年の間にただの空き地が減り、公園がなくなったり、きちんと整備されたりとめまぐるしく辺りの様子は変わっています。子供たちが存分に遊び回れる場所はずいぶん減っています。そのたびに

草の下にもぐり、原っぱをまわり「きれいな川ならいいのにね」といつつも、我慢し切れず川に入ってしまう子供らの元気にエネルギーを貰いつつ、万年赤字の保育所がここまでやってこれました。(保育所にかかわる大人たちの共同運営、共同経営です。一緒に子供たちを見ていきましょう!と)

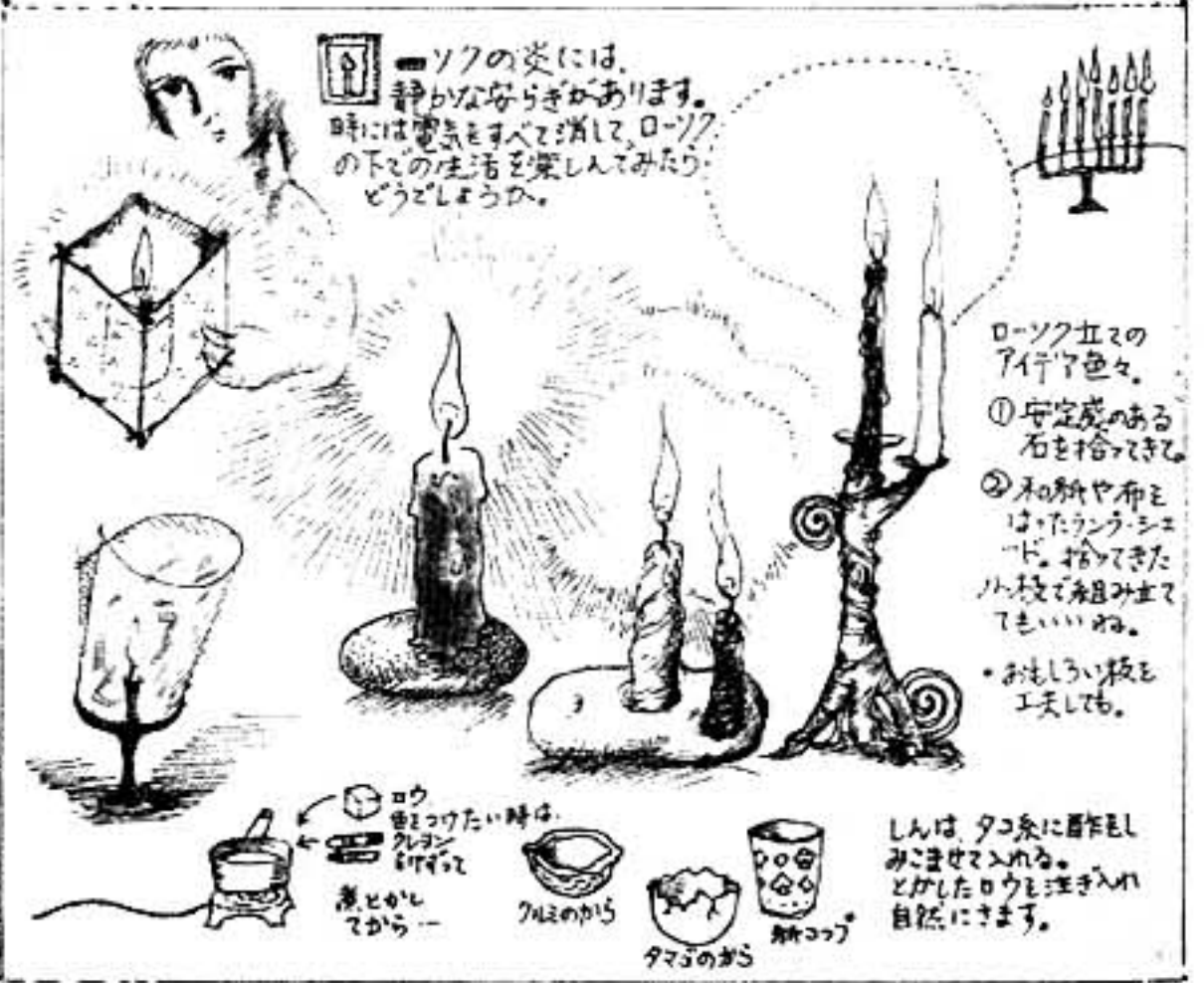
家がなくて廃園に追込まれるのはやっぱり悔しいのです。むせるような大人と子供のエネルギーの中で、こんなに豊かな日々を過ごしているこの大事な大事な「回帰船」を絶対続けていきたいと思っています。心当たりのある方は声をかけてください。家探しに協力して下さい。《おまけ》心当たりがあってもなくても、どんな所かのぞきにきてね。【→Tel 0423-84-1839回帰船】

このページではアマンクニ(名前のない新聞の発行主体)ネットワークと、いうのか、直接間接につながりのあるところの消息やタヨリを紹介します

名前のない新聞広告料金表

◎全頁	(30 19cm×27cm)	42,500円
◎1/2頁	(30 19cm×13.5cm)	25,000円
◎1/4頁	(30 9.5cm×13.5cm)	15,000円
◎1/8頁	(30 9.5cm×6.7cm)	8,500円
◎1/16頁	(30 4.7cm×6.7cm)	5,000円

- ↑5回掲載では20%引き、10回掲載で30%引きとします。
- ↑上記の値段は、復刊記念の特別割引料金です。お早めにお申込みください。
- ↑掲載の申込み締め切りは、掲載号の前々月15日。版下締め切りは前々月末、原稿の場合はその1週間前です。↑上記以外のサイズでも受けます。料金は面積により上の表に準じます
- ↑上記の値段は版下持込みの場合です。当方で版下を作成する場合は実費を頂きます。
- ↑但し5回以上の定期広告については、版下作成料をサービスします。
- ↑特に大きい面積の広告には、メッセージや情報を含んだ内容のものを歓迎します。



イラスト構成: SHOKO

例のごとく、アマンクニの発行主体に... 版下を作成する場合は実費を頂きます。

いやあ〜や〜と終った... 何故か? か? 徹夜をしてや〜と完成。ただ今、朝9時すぎ。今朝は快晴で太陽の光がまぶしい! あとは歩いて7~8分の印刷所まで版下を届けようかな。...

うづめていたらホッパッとこのスペースが空いてるのを発見。得たような境のような... 44